



# シーサイドニュース

Medical Corporation WADOKAI  
Hiroshima Seaside Hospital

2014年  
春号  
vol.64



## 新病院長の挨拶

病院長 大庭 治

過去20年の長きにわたり病院長を務められ多くの業績を残された土光文夫先生の後任として、平成26年4月1日から病院長として働かせていただいています。

私はこれまで40年余り心臓血管外科医として急性期病院に勤務していた関係上、慢性期医療病院については現在勉強中の身であります。

私の育った頃の島根県の山間部では大家族で、最後は家庭で看取るのが普通でしたが、生活様式などの変化により自宅で介護を行うのは困難な状態になりました。私の人生に大きな影響を与えてくれた母が脳梗塞で寝たきりになった最期の10年間、父親は定年退職後でもあったのでどこにも遠出することなくずっと自宅で介護し、母親が死亡した2年後に89歳で後を追っかけて行きました。遠方にいた私は何もできませんでした。せめてもの罪滅ぼしに私は医師としての残された時間で慢性期医療に邁進する覚悟でいます。本当に国の施策とはいえ現在の環境では医療介護を必要とする高齢者を自宅で看ることは大変困難なことです。

当院の平成25年度の統計によりますと入院患者さん



の平均年齢は84.29歳でした。100歳以上の方は7名居られました。認知症の方が約70%、寝たきりの方が約65%でした。赴任して初めての全病棟回診で感じたのですが、職員の皆様の献身的な努力により市中で生活されている方より、ひょっとしたら入院患者さんが長生きされているのではないかと思ったほどです。

この4月診療報酬の改定がありました。在宅に向一層努力が必要とは思いますが、最後に行き場をなくす人が残りそうな気もします。国の財政難に伴い慢性期医療機関も当分厳しい経営は続きそうですが、患者さんのためご協力をよろしくお願ひいたします。

# 平成26年 診療報酬改定の概要

今回の改定では、来たる超少子高齢社会の医療ニーズに合わせた医療体制の構築のため、入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組み、医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築を図ることを課題としています。

## ★ポイント!

入院医療について

### ○病床機能分化の促進

- 7対1入院基本料の見直しと厳格化
- 高度急性期と一般急性期の機能分化…高度集中治療の評価、一般病棟における長期療養の適正化等
- 地域包括ケア病棟の新設

外来医療について

### ○在宅復帰の促進

- 在宅復帰率に係る加算

在宅医療について

### ○在宅医療を担う医療機関の確保と質の向上

- 機能強化した、又実績のある在宅支援診療所の評価
- 緊急時における後方病床の確保している医療機関の評価
- 機能の高い訪問看護ステーションに対する評価

### ○在宅医療の適正化

- 訪問診療の要件の厳格化、同一建物における評価の引き下げ

## ★Pick Up!

高血圧症など複数の慢性の病気を抱えた患者が、身近な地域の診療所や中小病院（200床未満）の医師を「主治医」と決めると、月に何回受診しても1カ月定額のまとめ払い（包括払い）が選べる仕組みを設けられます。

「地域包括診療料」で月額約1万5000円。対象者は、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、認知症のうち二つ以上の病気を抱えた患者です。ただし、初診時や薬代などは、これとは別に支払わなければなりません。

身近な主治医の役割を診療報酬で重視したのは、これからいくつもの慢性の病気を抱えた高齢者が増えるのに対応するためと大病院の外来受診を抑える狙いがあります。

1人の医師に情報が集約されることで、患者は継続的な服薬や健康管理が受けられることと24時間の対応が可能になり、必要があれば、専門医や介護施設の紹介も受けられます。

医療費の自己負担額は、受診回数や病状、診療内容などで異なりますが、厚生労働省のモデルケースでは現在よりも1.5倍も割高になっています。患者が包括払いを選ぶかどうかは「主治医との相談」になるようです。

診療報酬改定の他に平成26年4月からの消費税増税に伴い、介護報酬の改定も実施されました。

当病院並びに各サービス事業所を利用されている皆様のご理解とご協力をお願いします。

私たちの仲間が増えました

コラム

「医療・介護の鳥瞰」

◆診療報酬改定

リハビリセンター長 松田 誠

政府は2014年度の診療報酬改定で0.1%引き上げることを決めた。これは、消費税の増税に伴うコストの穴埋め分を上乗せしたもので、実質1.26%のマイナスとなった。

診療報酬とは、医療サービスの医療費で2年に1度見直しを行う。又、医療費は税金、保険料、患者の自己負担を足したもので、2011年度の医療費は38兆5千億円、2025年度は64兆円に達すると推測されている。38兆5千億円の医療費の内、65歳以上の医療費は21兆4千億円で、医療費全体の55.6%を占める。65歳以上の1人当たりの医療費は、72万900円で、65歳未満は、17万4800円となった。

日本の人口割合の推移を見てみると、15~64歳（生産労働者）人口割合は、2000年で68.1%が2025年で58.7%になり、一方65歳以上の人口割合は、2000年で17.4%が2025年で30.3%になると予測されている。

このことは、生産労働者の人口割合が減少することで、税金、保険料の医療費に占める生産労働者の負担割合が下がり、医療費を現状維持する為には、税金、保険料、自己負担を引き上げなくてはならない。しかし、税金、保険料、自己負担をさらに引き上げることに対し、国民感情の観点から引き上げづらい。

一方、税金、保険料を現状維持する為の場合では、医療費を抑制し、さらなる医療の効率化を計る必要がある。その結果、診療報酬改定では今後もマイナス改定となる可能性が高い。医療費に占める税金、保険料、自己負担の関係をどのようにするか今後も重要な課題となる。

ただ、私達は医療費を抑制する為にも、ひとりひとり健康に十分に注意し、病気にならないよう努めなくてはならない。それが、医療費を抑制する最善の方法となるであろう。



4月1日、入社式が行われ、新たに7名（Ns4名、介護士2名、リハビリ1名）の職員を迎えました。

「シーサイド病院に入社して」

私は学生の時に、シーサイド病院で実習をした際、慢性疾患を抱える患者様の長期にわたる入院を、患者様のQOLを尊重しながらケアされるスタッフの方を見て、私もシーサイド病院の一員になりたいと思いました。

今後はシーサイド病院の一員として、医師、介護、リハビリなど他職種と連携を図りながら、患者様の個別性を考え、患者様が少しでも患者様らしく入院生活を送ることのできるよう、しっかりと看護ていきたいと思います。よろしくお願ひします。

看護師 隅部 優佳

脳の若返り

「ボケを撃退」  
トレーニング

⑬



作業療法士  
高松 英樹

脳をフル回転!都道府県名クイズに挑戦!!

挑戦1.名前が三文字の都道府県を  
3つ答えなさい。

挑戦2.動物の名前が入っている都道府県を  
4つ答えなさい。

挑戦3.名前に数字が入っている都道府県を  
2つ答えなさい。



\*答えは裏表紙（頁下部）に記載

# 信頼される医療・福祉をめざして…

## ■基本理念

◎常に患者様とご家族の立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります。

## 外来案内のご案内

休診日／土・日曜日、祝祭日、盆、年末年始

### ●内科・リハビリテーション科・放射線科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00～11:30	岡田	上杉	池田 沖田	山本	中村 上松瀬
13:00～16:00					

### ●神経内科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00～11:30	湯川	湯川		湯川	

医療法人 和同会

## 広島シーサイド病院

診療科目／内科・神経内科・リハビリテーション科・放射線科  
療養病床330床（医療157床・介護173床）

〒734-0012 広島市南区元宇品町26-20

TEL (082) 255-1010 FAX (082) 255-6826

<http://www.ss.wadoukai.jp>

- 通所リハビリテーション（定員45名） TEL (082) 252-2781
- 訪問看護ステーション ハローナースシーサイド TEL (082) 255-1424
- ショートステイ元宇品（定員30名） TEL (082) 255-1221
- 元宇品居宅介護支援事業所 TEL (082) 255-1422
- グループホーム元宇品（定員18名） TEL (082) 255-1239
- デイサービス元宇品（定員30名） TEL (082) 255-1271

## ■基本方針

◎信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため、職員の研鑽と協調に努めます。

◎患者様、ご家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、生きがいがもてるようチーム医療を推進します。

◎地域に根ざした、住民とともに歩む病院を目指します。

◎病院の質を高め、健全経営に努めます。

◎職業を通して、社会人としての豊富な人間性を養います。

## 場所のご案内



- バス／広島バス21号線（宇品線）シーサイド病院入口バス停より徒歩5分
- 電車／広島電鉄宇品線元宇品電停より徒歩10分
- タクシー／広島駅より元宇品方面へ約30分

## 編集後記

4月は診療報酬改定という病院にとって大きなニュースがありました。世間の関心は消費税増税。3月末の駆け込み消費はメディアでも大きく話題になりました。増税により普段スーパーで買い物するものはもちろん様々なものが値上げしました。1か月が経ち、ご存じの方も多いとは思いますがその一部を紹介します。

- ガソリン料金…1ℓあたり159円から164円（全国平均）で約5円程度の値上げ。これは地球温暖化対策税というのも上積みした値段に。
- 電車料金…広島を走る路面電車は市内均一150円から160円に。JRは初乗り運賃は140円の据え置きですが、その他は10円ほど上がっている場合が多いようです。
- 切手、はがき料金…はがきは1枚50円から52円に。切手も82円切手、

92円切手が新しくできました。

ちなみに買い物の時に少し注意が必要なのは便乗値上げと価格表示について…表示については昨年からの変更ですが、表示方法が税抜表示と税込表示の2種類に分かれました。もちろん、お店はそれがきちんと分かるように表示する必要がありますが、場合によっては増税分以上に値段が高いことも??いずれにしても、私の懐は寂しくなるばかりで暖かくなることは…とこの場を借りて愚痴を言ってしまいました。すみません(^\_^);

さて、今は寒さを感じることは少なくなりましたが、朝夕と昼間の寒暖の差が大きいので体調を崩してしまう、という方も多い季節です。くれぐれもお身体に気をつけてお過ごしください。